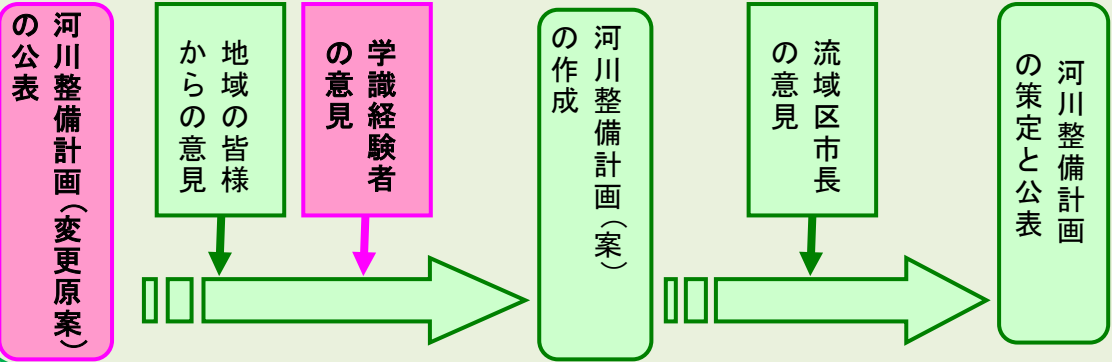


委員会の目的

河川整備計画策定専門家委員会とは、東京都が管理する河川について、今後河川整備を実施していく上で具体的な河川整備に関する事項を定める「河川整備計画」を策定するにあたり、河川法第 16 条に規定された専門的知見を聴取することを目的とした専門家委員会です。  
詳細は、下記建設局 HP をご覧下さい。

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jigyo/river/kasenseibikeikaku/kasenbu0030.html>



**【渋谷川・古川】** ※現行の「渋谷川・古川河川整備計画」は平成 20 年 10 月に策定済  
渋谷川・古川は、上流端の新渋谷橋から東京湾に直接流れる二級河川であり、市街化が進んだ流域を流れる都市河川です。平成 11 年には、局地的集中豪雨により溢水被害が発生しており、東京都豪雨対策基本方針（平成 26 年 6 月）でも、対策強化流域に選定されています。

○変更の主なポイント

近年の豪雨の増加や、それに伴う水害の発生状況を踏まえて策定した「中小河川における都の整備方針」（平成 24 年 11 月）に基づき、1 時間あたり 75 ミリの降雨（年超過確率 1/20）に対応することを目指します。整備にあたっては、1 時間あたり 50 ミリ規模の降雨までは河道で対処することを基本に、これを超える降雨には新たな調節池と、河川への流出を抑制する流域対策の実施により対応しています。

**【海老取川】** ※現行の「海老取川河川整備計画」は平成 27 年 4 月に策定済

海老取川は、東京都南部の大田区に位置し、多摩川から分派して海老取運河に接続するまでの、流路延長 1.04km の一級河川です。全川が潮汐に応じて水位が変動する感潮河川であり、流量配分を持たない河川となっています。また、海老取川は、港湾区域と河川区域が重複する共管区域となっています。

○変更の主なポイント

羽田空港跡地では、大田区が「羽田空港跡地第 1 ゾーン整備事業（第一期事業）」に着手し、平成 29 年 5 月に跡地まちづくりの整備・運営事業予定者が決定されるなど、現在、まちづくりが進められています。そのため、海老取川右岸の多摩川から穴守橋の区間にかけて、高潮や地震に対する安全性を確保する必要性から、跡地まちづくりと一体となった新たな防潮堤の整備を目指します。



渋谷川・古川、海老取川の位置図